

花まつり 秋尊降誕会 令和6年5月12日

5月12日(日)、毎年恒例の薬王寺花まつりを勤修致しました。まずは山梨県大聖院の宮入英彰御住職に御法話頂き、方丈様との繋がりとお縁のお話をわかりやすくお伝え頂きました。



花まつり 唯我独尊 天下



宮の森 大乘院 道しるべ

令和六年 お盆号

大乘院寺報 令和6年7月 7064-0938 札幌市中央区宮の森1263-3 電話(011)641-8904 FAX(011)631-0004 E-mail yakuou@triton.ocn.ne.jp 第96号

新盆万灯塔婆供養

8月15日(木)午後16時30分より ~本年初めてお盆を迎える御霊の御塔婆供養です~

お焚き上げ供養

8月20日(火)午前11時より ※お焚き上げを希望される方は11時までにお持ち下さい。

お盆大塔婆供養

8月20日(火)午後13時より ~御先祖様への感謝報恩の御塔婆供養です~

田中貫志 老師

午後12時15分より

芦別市 大興寺住職 北海道宗務所布教師

昼食のご用意をしておりますのでご家族様で起こして下さい。

活動のご案内

薬王寺では地域に密着したお寺を目指すため、様々な活動を行っております。皆さまのご参加、お待ちしております。

Grid of activity listings including: 坐禅会 (Zen practice), 子ども空手教室 (Children's Karate), ご詠歌 (Goka), スキー少年団 (Ski Youth Group), 寺ヨガ教室 (Temple Yoga Class), and 8月のお供い (August offerings).

8月に年忌法事にあたる方へ

お盆期間中(8月)は、ご法事の繰り上げをお願いしております。四十九日法要はお勤めに上がりませんが、お時間やご納骨についてはご相談させていただければと思います。

- 8月にできない日
● 棚経期間
● お墓参り期間
● 法要の日
2013日
1日~12日
16日

この日以外のご法事はお受けできませんが、あらかじめ日時をご相談の上、決定して下さい。

暑中御見舞い 申し上げます



盛夏を迎えた宮の森では、深緑の山々から、小鳥たちのさえずりや蝉時雨、流れる澤水の音に癒されます。朝の坐禅は自然の壮大な力とその恩恵のもと、私たちに生きる力を与えてくれていることを実感します。



合掌

【此月の満たれば盆の月夜かな】

今年も御先祖様をお迎えするお盆の季節となりました。旧暦では、お盆は丁度満月の日でした。大自然に育まれ、深遠な真理を内包し、人類に大いなる位置を占める仏教に私たちは触れています。

編集後記

先人の尊い 教えにふれる

もうすぐお盆の季節です。

お盆は、孟蘭盆(うらぼん)または盂蘭盆(うらぼん)と言われ、御先祖様を一年に1回、家にお迎えしともにひと時を過ごす供養。

先人の尊い教えに触れる大切な法要です。

私たちが日々の暮らしの中で、自分のなすべきことをして、自分に与えられた使命を果たしたいと願っています。そのためには、「素直な心」が大切と坐禅会で教えられました。

素直な心になれる。そう信じて、素直な心になりたいという強い願いをもち続ける。

仏心塾の生徒との鍛錬の時間、彼らの成長から思うことは、やはり素直な心を持つことの大切さです。

これからも檀家様・檀信徒の皆様のため、未来を担う子供たちのために、今度、「素直な心」を大切に日々精進して参ります。

院代 慎龍 合掌

8月 お詣り予定

(月参りはお休みです)

1日、12日

午前7時から午後6時まで
お盆のお詣りに伺います

◇御先祖様をお迎えする為の、大切なお勤めです。地区の担当者が予定日を決めて、ご自宅にお伺いします。ご御協力お願い致します。

日時のご案内は発送済みです
届いていない方はご連絡下さい

【お盆まいるのお願いです】

- 住所変更や日時の御変更、お休みの時は、お手数ですが、お早目にお知らせ下さい。
- ハガキに午前午後と、時間帯に○印が付いていますが、おおよその目安で前後することもあります。恐れ入りますが、お時間には余裕を持ってお待ち下さい。
- この期間中は、お寺に僧侶が不在がちです。この期間中は、お寺に僧侶が不在がちです。この期間中は、お寺に僧侶が不在がちです。
- お伺いの際に水供養塔婆(水塔婆)をお持ち致します。口の広めのコップに、水を半分ほど入れ御用意下さい。水塔婆は十六日まで、毎朝水を取り替えると丁寧ですね。



※十八日が終わりましたら水から出し、乾燥させて、二十日の法要に御持参頂くか、半紙等に包んで、来年のお盆か、次の御盆日の時に、お渡して下さい。

13日、16日

お墓参りの期間です

※お寺の開門は
午前7時から午後7時まで

◇お墓に御先祖様のお参りに行きます。お寺では朝七時より夜七時まで開門して下さいます。お経のお申し込みは受付順です。お供物は、皆様でお召し上がり頂く事も御供養です。出来るだけお持ち帰り下さい。

《駐車場のご案内》

新本堂の駐車場も使用できます。また境内での事故や盗難に関しては責任を負いかねますので充分ご注意ください。

貴重品は必ずお持ち下さい!

15日 新盆供養

午後4時30分より

今年新盆の方は、令和四年六月二十六日(令和五年六月二十五日迄)の仏様です。

◇今年初めてお盆を迎えられる精霊様だけの御供養です。想いを込めて灯火を供え、お塔婆を建立して供養の誠を捧げましょう。



午後四時までお越し下さい。
(法要中は本堂納骨堂でのお参りを御遠慮して頂く事があります。)

御先祖供養、回忌供養の方は
二十日の法要へお越し下さい

◆韓国文化芸術財団様当院上山



韓国文化芸術財団
団法人理事長で
曹溪宗大運寺住職
職珠昔(シジュク)老師が
お寺に訪問下さいました。
開拓殉難者の慰



霊碑に手を合わせ、日韓両国の平和と安全を祈念致しました。

◆お盆棚経のおハガキについて

本年お盆の棚経の有無について確認をさせて頂きましたが、ご返信いただいた際、お時間やお日にちのご希望を頂いている方がおられました。

お時間やお日にちにつきましては例年通り担当僧侶がスケジュールを組んでからの対応となりますので、大変お手数で

東原俊郎 総代長からのご挨拶



お盆をひかえ、皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。

5年前より計らずも総代長を勤めさせて頂いたとき、ご任職して皆様とともに薬王寺がより良い心の拠り所となるようお手伝いをさせて頂いてまいりました。皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

檀信徒の皆様のご健康とご多幸、心から御祈願申し上げます。

遊佐敬二 護持会長からのご挨拶



遊佐さんはこの度札幌教区全体の護持会会長に就任されました。

私たちの菩提寺である大乗院には、お墓や納骨堂がたくさんあります。

この季節はお寺が賑やかになります。私が日々を過ごしているのも、ご先祖様のお陰です。お墓参りの際は暑さには負けない明るい笑顔で感謝の合掌をして頂けたらと存じます。

末尾になります。私たちが私のお寺、宮の森大乗院の発展と檀信徒皆様のご健康とご多幸を心から御祈念申し上げます。ご挨拶、ご致します。

16日 お供物のお下げ

午後より

◇境内のお墓や納骨堂のお供えを下げる日です。御檀家さんや婦人会の皆さんにお手伝い頂き、お掃除をします。ご協力頂ける方は、お昼頃までお越し下さい。



当日お参りの方は、御供物のお持ち帰りを協力下さい

20日 お盆大法要

午後13時半より

◇お盆総供養の大塔婆供養を致します。本年回忌を迎える方には、ご案内を同封させて頂いております。お塔婆供養は回忌にあたる方だけではなく御先祖様への供養もしております。

当日ご参詣にならない場合は、お寺が代わってご供養致します。当日のお申込みも可能ですが、なるべく午前中までにお申込みをお願い致します。

◇当日はお焚き上げ供養も行ないます。古い御守りや水塔婆などお持ち下さい。ただし生ものや不燃物は受付出来ません。

20日 からの お参りは

◇お寺は二十日以降、お盆の片付けに入りますが、祥月命日(本命日)や中陰(四十九日中)のお詣り、ご法事のお勤めにありますので、お時間の予定など遠慮なく御相談下さい。

《護持会費について》年間一万円

檀信徒皆様が気持ち良く御参り頂けるように、お寺や境内地を管理・整備させて頂く為の大切な会費です。境内の「お墓や納骨堂の有無に関わらず」「月命日、本命日やお盆、ご法事」等に伺っている場合には、必ずお納め頂く会費です、どうかご理解ご御協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

◆お盆のお参りに伺います

夏らしい日が続いております。お参りに伺うと皆様から、お茶を出していただいたり、いろいろなお話し伺ったり、故人様、仏様が作ってくださった仏縁に感謝しています。今年もご自宅等へのお盆のお参りをさせていただきます。



住職 田中 清元



副住職 田中 基裕



森川 敬道



院代 橋坂 慎龍



鶴間 隆道



井崎 信海

お盆は御先祖様や人と人との繋がりを大切に作る時間でもあります。今年もお寺とご縁のあるお坊さんにお盆経のお手伝いをして頂きます。

また、皆様可愛がって頂いている御住職のお孫さんで副住職の長男田中裕元君と次男田中純元君が昨年に引き続き山内でお勤めをする事になりました。未熟な部分があるかも知れませんが温かく見守って頂けると幸いです。



廣澤 一徳



秋田 洋壽

【お塔婆・ご志納のお申込み】

●お詣りに伺った際には、新盆(十五日)、お盆法要(二十日)の「お塔婆供養」と「ご志納」のお申込みをお受け致します。同封の「申込書」に必要事項をご記入頂き、供養料と一緒に御渡して下さい。併せて護持会費のご納金もお受け致します。

回忌案内が届きの場合、申込み書に添えてお渡し下さい。

御郵送 での御申込みもできます

お盆のお詣りに伺わない方は同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、茶色の返信用封筒(切手不要)にて御返送下さい。ご供養料は同封の郵便局の振込用紙にてご納金下さい。
※年忌に当たらない仏様のご供養もできます。



年忌にあたらぬ仏様のご供養もできます。

ご塔婆はお地蔵様を囲み年間建立しご供養致します

- 大塔婆供養・一万円 (戒名法名を茶色)
- 中塔婆供養・五千元 (家名のみ)
- 万燈供養・五千元 (提灯供養、家名のみ)

◆大塔婆供養

今年法事を迎えられる方、御年忌に当たらない方も御先祖様への御供養のために感謝のお勤めをおすすめ致します。御供養されたお塔婆は境内地に来年夏まで建立安置させていただきます。

また、やむなくコロナ禍の中、ご法事や棚経、お墓参りを見合わせた方には特に御塔婆の建立をお勧めいたします。
※当日お越しにならない方は、お寺で代わりにお勤め致しますので、ご安心ください。

◆お塔婆の意味と目的

お塔婆とは、もともと仏塔という意味の「ストウパ」が語源とされ、お釈迦様のご遺骨を納められた五輪塔がその由来です。五輪塔の5つの形の意味は、上から宝珠型「空」、半円「風」、三角「火」、円「水」、四角「地」となり、宇宙を構成する5つの要素を表し、仏教では人間もこの5つの要素によって生かされていると教えられています。

塔婆を建立することは最も善行とされてきて、それは故人やご先祖様の善行ともなり、追善供養を行うことにもなります。

◆今年のお参りは手ぶらでお越し頂けます

いつもお参りご苦労様で御座います。今年のお盆はお檀家様のご負担を少しでも軽減出来たらと、8月11日(日)・15日(木)で山内でお線香等をお求め頂けるように致しました。また、お念珠や御供物、返礼品のアウトレットセールもお求め頂けます。

今年のお参りは手ぶらでお越しください。詳しくは、同封のパンフレットをご覧ください。

